

「令和8年度における統計リソースの重点的な配分に関する建議」に向けた検討メモ

令和7年5月16日

統計委員会委員長 椿広計

- 各府省内の予算要求の取りまとめ手続等を踏まえ、以下のスケジュールで検討することとしてはどうか。

5月16日	建議に盛り込むべき事項を統計委員会で議論
5月下旬	建議素案を委員に提示、委員意見の受付（メール対応）
6月	意見を踏まえた建議案を統計委員会で議論 →取りまとめ

- 建議には、第IV期基本計画に記載されている各府省の取組を引き続きサポートしていく観点から、以下の事項を盛り込むこととしてはどうか。

（社会経済の変化に的確に対応する公的統計の整備）

- ・ 国民経済計算の精度向上・充実、SUT体系への移行
- ・ 経済統計の体系的整備の推進
- ・ 経済のデジタル化の把握 等

（統計の国際比較可能性の向上）

- ・ 新たな国際基準の速やかな実装
- ・ SDGグローバル指標の整備
- ・ 国際貢献、国際統計人材の育成 等

（統計データの利活用促進）

- ・ e-Statの機能充実等による統計データの利活用の促進
- ・ 調査票情報等の提供及び活用の推進
- ・ 統計データを利活用したEBPMの推進を担う人材育成 等

（品質の高い統計作成のための基盤整備）

- ・ PDCAサイクルの定着
- ・ 統計の信頼性の確保等に資するシステム整備
- ・ 国・地方の統計職員の確保・育成、統計調査員に対する支援
- ・ 調査環境改善のための普及啓発活動 等

（デジタル技術や多様な情報源の活用等による正確かつ効率的な統計作成）

- ・ デジタル技術による統計調査や統計作成の効率化
- ・ オンライン回答率向上のためのシステム改善
- ・ ビッグデータや行政記録情報等の活用 等